

第46回全国障害者技能競技大会
<119> ネイル施術 事前公表課題

1 競技内容

作品は、課題1～2の2種類とする。

(1) 課題1：『ネイルケアとカラーリング』

模擬ネイルサロンとして、実際のネイルサロンサービスを想定した接客、技術サービス内容で競技を行います。

前半：【ネイルケア】（両手）お客様の爪の状態を確認したあと、爪の長さや形を整え、甘皮周りの手入れを行います。仕上がりの美しさだけでなく、適切な技術や材料の選択、正確な施術、衛生管理、時間管理、そしてネイル施術のプロとしての身だしなみ、作業中の所作や接客マナーを含めた総合的なサロンサービス力が評価されます。また、健康な指先を育むための知識や技術も求められ、次の課題に向けた準備も競技の一部となります。

後半：【カラーリング】（両手／右手：ネイルポリッシュ・左手：ジェルカラーリング）

ジェルネイルとネイルポリッシュという異なる素材を用いた2種類のカラーリング技術を片手ずつに行い、素材の違う製品の特性に応じた技術テクニック、正確な技術力、材料を適切に扱う力に加え、トータルバランスと仕上がりの美しさ、お客様への配慮などを総合的に評価します。競技で使用するカラージェルの色は競技前日に発表され、対応力やタイムマネジメント力も求められます。

- 片手（モデルの右手5本）カラーリング：ポリッシュ（赤）
- 片手（モデルの左手5本）カラーリング：ジェル（オリエンテーション時に配布）

(2) 課題2：『ネイルアート』 テーマ：「ブライダル（Bridal）ネイル」

テーマに合わせたネイルデザインをネイルチップ5枚に施し、創造力とアート技術を競います。
チャペルウエディング、神前式、ガーデンウエディング、リゾートウエディング、〇〇ウエディング・・・など

2 競技時間

【課題1：90分】

・前半ネイルケア：45分

爪の状態を確認しカウンセリングシートに記入し、モデルの同意を得る。手指消毒からスタートし、両手ウォーターケア（お湯を利用したケア）を利用したキューティクルケアを行う。

爪の表面は、後半のカラーリング内容に応じた爪の準備を行う。

・後半カラーリング：45分

モデルの両手にそれぞれ決められた手に2種類のカラーリング（ポリッシュとジェル）を行う。

【競技課題2：80分：ネイルチップ5本】

- ・ネイルアートのベースカラーで使用出来るものは、ポリッシュ・ジェル製品とする。
- ・ネイルアートを効果的に表現する目的で、アクリル絵の具、ストーン、ホログラム、ラメ、ミラーパウダー、パウダーなど、ネイルの商材であれば使用は可とする。（市販されているネイルシールや既にデザインされた装飾品や、スタンピングプレートの使用は不可。）
- ・ネイルチップの加工は、時間内であれば可能とする。長さや形は自由。
- ・爪につけられるアート作品であること。（人の爪に装着可能な作品であること。）
- ・立体的なパーツをその場で作成し装飾する事は可とする。

3 提出方法

課題1：参加者からの申し出及び競技時間終了の合図で競技終了とし、モデルへの施術をもって提出とする。

課題2：作品は、主催者側で用意した展示用の台やトレーニングハンドに装着した状態で提出とする。

4 禁止事項

- （1）競技時間中にスタッフ以外から指導や助言を受けてはならない。
- （2）他の選手やスタッフの妨害をしてはならない。
- （3）競技時間に遅刻すること及び競技時間中に許可なく席を離れてはならない。
- （4）定められた競技時間・競技エリア以外で課題を実施してはならない。
- （5）競技時間中に、付添人が競技エリアへ入場してはならない。

5 注意事項

- （1）使用機材に不具合が発生した場合は、スタッフに報告し、指示に従うこと。
- （2）会場での座席位置は、予めスタッフが決定する。
- （3）メモ、デッサン画、参考書、その他の資料等の持込みは一切不可とする。
- （4）ネイルデザインには、アニメ・漫画・ゲームのキャラクター、企業ロゴ、ブランドマーク、その他第三者の著作権・商標権・意匠権等の知的財産権に抵触するモチーフの使用をしないこと。デザインはオリジナル作品、または権利者の許諾を得たものに限る。

- 補助具等（書見台等）の導入が必要な場合は、事前に事務局に申し出ること。それらは原則として、参加者自身が持参し、事前にスタッフの立ち会いのもとで導入すること。ただし、導入に関して不具合があっても特別な配慮は行いません。

6 競技会場に準備してあるもの

No.	機材名称	仕様
1	作業台	W1800×D450×H700 (内高 640)程度
2	選手用電気スタンド	クランプ式蛍光灯：100V 40W
3	電源コンセント（各 2 口）	ジェルネイルランプ用・電気スタンド用
4	完成作品保管・展示用長机	W1800×450×700 程度
5	長机用テーブルクロス	白色、ビニール製
6	椅子	背もたれ付
7	ごみ袋	競技場内に設置（60L 又は 45L）
8	エタノール	消毒用エタノール 1 本
9	ポリッシュリムーバー（予備用）	ポリッシュリムーバー
10	ケースまたは、トレーニングハンド	ネイルアート作品提出で使用するもの
11	ネイルチップ	アート競技で使用（競技前日に配布）
12	ネイルチップシール（両面テープ）	競技前日または、当日配布
13	チップスタンド（予備用）	ご自身の持参したものを使用してもよい
14	ジェルカラー（第 1 課題で使用）	カラーリングで使用（競技前日に配布）
15	選手作業テーブル用のごみ袋	A4 サイズのゴミ袋 選手人数分用意

7 競技者が持参するもの

No.	機材名称	仕様
1	手指・器具用消毒液	消毒液（メーカーや形状は問わない）
2	コットン	手指消毒等で使用
3	コットン容器	コットンワイブケース（形状は問わない）
4	ウェットステライザー	消毒用タンブラーなど
5	メンダ（容器）	メンダポンプ（必要に応じて）
6	ベースコート（刷毛タイプ）	ベースコート（メーカーや形状は問わない）
7	トップコート（刷毛タイプ）	トップコート（メーカーや形状は問わない）
8	ポリッシュカラー（マット赤）	カラー（メーカーや形状は問わない）

9	ベースジェル（ジェル）	ジェルベースコート（メーカーや形状は問わない）
1 0	トップジェル（ジェル）	ジェルトップコート（メーカーや形状は問わない）
1 1	ジェル用筆	ジェル筆（アート・ジェルカラー塗布などで使用）
1 2	ジェルネイル用ランプ	メーカーは問わない（LED カラージェルに対応した 3 6 W クラスのランプが望ましい）
1 3	爪用消毒剤	カラーリング前に爪消毒で使用（メーカーは問わない）
1 4	ワイプ類・ペーパー類	使用するジェルのタイプに応じ用意
1 5	スパチュラ	カラージェル攪拌用（必要に応じて使用）
1 6	メタルプッシャー	ネイルケア時に使用（メーカーや形状は問わない）
1 7	キューティクルリムーバー	ネイルケア時に使用（メーカーや形状は問わない）
1 8	キューティクルニッパー	キューティクルニッパー
1 9	ネイルファイル	エメリーボード（爪の状態にあったグリットを使用）
2 0	ウッズスティック	ウッズスティック
2 1	シャイナー	爪の凹凸を整えツヤをあたえる（必要に応じて使用）
2 2	バッファー(240G 前後)	爪の凹凸をなだらかにする
2 3	スポンジファイル(100/180G)	爪のツヤ消し（サンディング時）に使用
2 4	ガーゼ	ネイルケア用（メーカーや形状は問わない）
2 5	ダストブラシ	ダストを払うブラシ
2 6	トレー	ケース（材料や用具を入れるためのもの）
2 7	ブラシ立て	ジェル筆、ファイルスタンド
2 8	フィンガーボール	フィンガーボール（ウォーターケア時に使用）
2 9	ペーパータオル	ペーパータオル
3 0	アームレスト	アームレスト（タオルなどで代用も可）
3 1	作業エリア用タオル	白無地タオル
3 2	水	ネイルケアのお湯の温度調整用
3 3	お湯（水筒）	ウォーターケア用
3 4	ネイルアートの道具	各自ネイルアートで使用する道具・材料一式

■ 競技で使用する道具・材料について

- 上記要項に記載のないものであっても、施術に必要と判断されるものは各自で準備すること。
- ネイルケア、ネイルポリッシュ、ジェルネイル施術に必要な器具・材料は各自で準備する。
- 持参した道具・材料は、前日のオリエンテーション時に確認を行うため、競技で使用する道具・材料一式を会場へ持参すること。
- ジェルネイルランプの硬化時間やテクスチャーなどは、各自で確認・管理すること。
- 競技を有利に進めることを目的とした特殊な器具や材料の使用は認めない。
- 延長コードが必要な場合は、各自で準備すること。

■ モデルについて

- 第46回大会では、競技で施術するモデルは各自で手配をお願いします。
- 配宿等については主催者側からあらためて連絡を行います。

■ カラーリング用ジェルについて

- カラーリングで使用するカラージェルは主催者が用意する。
- 使用するジェルカラーは、前日のオリエンテーション時に発表する。
- 選手は前日のオリエンテーション時間内に、ジェルカラーの色味やテクスチャーを確認すること。
- その他の道具や材料についてはメーカー指定を設けない。
- 要項に記載のない材料は、必要に応じて各自で準備すること。

■ ネイルケア・カラーリングモデルの条件

モデルは以下の条件を満たすこと。

爪の状態

- ネイルケアおよびカラーリングが行える爪の状態である。
- 爪先（フリーエッジ）の長さが2mm以上5mm程度あること。
- 両手10本の爪に施術ができる状態である。

【モデルの爪にリペア（亀裂補強）や長さだしの処理が必要な場合】

- 亀裂等の処理（リペア）や長さだしが必要な場合、全部で3本までとする。
- 亀裂などの処理にネイルグルーを使用する場合には、本数に制限はない。
- リペアや長さだしで使用する製品はジェル、アクリル、シルクラップであればいずれも可。
(ネイルチップでの長さだしは不可とし、使用した場合には減点対象となります)

皮膚の状態

- 爪周囲や手指に炎症や感染症などが無いこと。

その他

- 競技当日、爪の長さ形を整えられる長さがあり、甘皮の手入れができる状態、爪の表面が磨かれていない状態とする（14日以上お手入れがされていない爪と甘皮の状態）。
- 整爪、甘皮ケアや爪表面の審査が難しいと判断した場合には、減点の対象となります。

ネイルアートのネイルチップについて

- ネイルチップは主催者が準備し、前日のオリエンテーション時に配布する。
- ネイルチップは、クリアタイプ、チップの形状は、ポイントまたはラウンド（オリエンテーション時には発表）
- チップの削り込みや長さ調整は、作品のデザインに合わせて競技時間内に自由に行ってよい。

■ 共通事項

- 前日のオリエンテーションでは、課題説明、材料配布、提出方法等について説明を行う。
- 選手は競技に必要な知識と準備を十分に行い、安全かつ衛生的な施術を心掛けること。
- 整理整頓、衛生管理、プロフェッショナルとしての所作も評価対象となる。

【モデルの爪にリペア（亀裂補強）や長さだしの処理が必要な場合】

- ・亀裂等の処理（リペア）や長さだしが必要な場合、全部で3本までとする。
- ・亀裂などの処理にネイルグルーを使用する場合には、本数に制限はない。
- ・リペアや長さだしで使用する製品はジェル、アクリル、シルクラップであればいずれも可。
(ネイルチップでの長さだしは不可とし、使用した場合には減点対象となります)

◎課題1、課題2で使用する道具、材料は、普段使用している道具・材料一式をご持参下さい。

※使用する道具、材料の形状やメーカー等は問いません。

※ジェルカラーは主催者側で用意します。

※ネイルチップ、ネイルチップを貼る両面シールは主催者側で用意します。

8 テーブルセッティングに関して

1. 競技開始前の準備

- 競技開始前までに、必要な準備をすべて完了しておくこと。
- 入室可能時間は前日のオリエンテーション時に案内する。
- 競技開始前に、使用する道具や材料をカバンから取り出していない場合は減点対象とする。

2. ジェルネイルランプの管理

- ジェルネイルランプの動作確認を競技前に各自で行うこと。
- 使用するジェルの硬化時間は各自で管理すること。
- ジェルネイルランプの不具合により競技に支障が生じた場合でも、競技時間の延長や配慮は行わない。

3. テーブルセッティングと衛生管理

- 使用する器具・材料は、トレーの中でセッティングし、競技中も衛生的に管理すること。
- ウェットステリライザーを必ず設置し、ニッパーやプッシャー等の器具を適切に管理すること。
- 使用する器具・材料は、消毒済みの衛生的なものを使用すること。
- ジェルネイルランプの設置場所は作業テーブル内であれば自由とし、各自で安全かつ適切に管理すること。
- 競技中に使用する材料や器具類は、整理整頓を心掛け、衛生的に管理・使用すること。

評価のポイント

- テーブルセッティングの適切さ
- 器具・材料の衛生管理
- 作業スペースの整理整頓
- 安全性および効率的な作業環境の維持
- プロフェッショナルとしての所作と管理能力

課題 1（ネイルケアとカラーリング）

●競技時間 ： 90分

前半：爪の状態を確認・ネイルケア 45分

《審査》

後半：カラーリング 45分

競技内容

施術者とモデルの手指消毒後、爪の状態を確認し、ネイルケアからカラーリングまでを行う。

【競技手順】

前半：ネイルケア（45 分）

① カウンセリング

- ・ 爪の状態を確認し、主催者が用意したカウンセリングシートに記入する。
- ・ 爪の状態を確認するとともに、皮膚トラブルの有無や、爪に関する悩みなどをカウンセリングシートに記載（オリエンテーション時にカウンセリングシート内容を確認する）
- ・ モデルとの爪の悩み等を確認し、必要事項をカウンセリングシートに記入する。

② ネイルケア

- ・ 甘皮ケアはウォーターケア（お湯を利用した方法）を用い、モデルの両手に施術する。
- ・ カラーリング（色塗り）を行う前に、爪の長さを整え、爪表面、甘皮および爪周囲の皮膚を整える。

注意事項

- ・ 爪の状態やモデルの悩みを十分に確認し、必要事項をカウンセリングシートへ正確に記入すること。
- ・ カウンセリング内容を踏まえ、安全かつ適切な施術を行うこと。

ネイルケアとは、カラーリング（色塗り）を行う前に、爪の長さを整え、爪表面、甘皮や周囲の皮膚を整える工程です。以下の①～⑨の順番で行います。

【ネイルケア手順】

②-1 手指の消毒

消毒液を含ませたコットンで、**施術者（自分）→ モデル（相手）の順**に手を消毒します。

- ・ 施術者とモデルで**必ず別々のコットン**を使う
- ・ 手の甲・手のひら・指の間まで消毒する

②-2 爪の長さ・形を整える（ファイリング）

エメリーボード（爪用のやすり）を使って、爪の先端（フリーエッジ）を削り、長さと形を整えます。

- 爪の形は何でもよいが、**10 本すべての長さと形を揃える**
- 力を入れすぎず、爪に負担がかからない正しい削り方で行う

②-3 削りカス（ダスト）の除去

ダストブラシを使って、ファイリングで出た爪の粉（ダスト）を払い落とします。（爪表面・フリーエッジ裏）

②-4 キューティクルリムーバーの塗布・お湯に浸す

キューティクルリムーバー（甘皮を柔らかくする液）を甘皮に塗布し、**フィンガーボール**（お湯を入れた容器）に指先を浸して、甘皮をやわらかくします。＊施術途中にお湯の温度調整を行うことは可。

②-5 甘皮を優しく押し上げる（プッシュアップ）

メタルプッシャーを使って、柔らかくなった甘皮を、やさしく押し上げます。

- 器具の形に合った角度で、**爪や皮膚を傷つけないよう**丁寧に行う

②-6 不要な甘皮・ささくれを除去し整える

ガーゼと**キューティクルニッパー**を使って、不要なルーススキンやささくれを取り除きます。

- 甘皮は皮膚を守る大切な役割があるため、**不要な部分だけ**を除去する
- 爪や皮膚を傷つけないよう注意する
- 使用するガーゼの大きさや形は問わない

②-7 後半の施術に合わせた爪面の処理

左右の爪で、この後に行う施術内容が異なるため、それぞれ違う爪上の処理を行います。

ジェルネイルを施す爪は、必要最低限、適切なサンディングを行うこと。

ネイルポリッシュを施す爪は、爪表面の凹凸を滑らかに整え、カラーリングしやすい状態に整える。

サンディングおよびバッフィングは、爪を傷めないよう適切に行い、施術内容に応じた下準備を行う。

爪の状態に配慮した安全で適切な施術を行ってください。

⑧ ダスト除去

爪の表面・サイド・裏側についた細かい削りカスを、きれいに取り除きます。

⑨ 器具の片付け・カラーリングの準備

使用した器具や材料をすべて片付け、次のカラーリング工程がすぐに始められる状態に整えます。

⚠ 注意点：ケア終了後に、キューティクルオイルやハンドクリームなどを塗ると減点になります。

【審査ポイント（ネイルケア）】

- ・ 施術前の爪の状態を確認し、必要内容をカウンセリングシートに記入できている
- ・ 施術サービス全般が衛生的かつ安全に適切に提供されていること。
- ・ 危険行為や出血などがなく、安全に施術が行われていること。
- ・ 器具・材料は必要なものが準備され、整理整頓された状態で安全かつ正しく使用されていること。
- ・ 爪の状態に合わせた適切な材料選択と施術が行われている。
- ・ フリーエッジの削りあとが滑らかで、削り残しやダストが残っていない。
- ・ 不要な甘皮やささくれの処理が適切に行われていること。（取り残しや必要以上の切りすぎは減点対象）
- ・ 10本のフリーエッジの長さや形がバランスよく整っている。
- ・ 後半のカラーリングに適した状態へ、爪の準備が適切に行われている。
- ・ 作業手順を守り、作業時間内に施術を完了している。
- ・ ネイルケア前後で明確な変化が見られ、仕上がりのバランスが整っている。
- ・ プロとしての身だしなみや所作、お客様（モデル）への声掛けや確認など、接客を含めた施術サービスが適切に行われている。

審査（約10分）

後半：カラーリング（45分）

カラーリングは、ネイルポリッシュ（マット赤）およびジェルカラー（主催者用意）を使用して行う。

- ・ モデルの右手：ネイルポリッシュ（マット赤）
- ・ モデルの左手：ジェルカラー（主催者指定）

施術者は、各製品の特性を理解し、適切な手順で施術を行うこと。

カラーリング手順

1. 爪表面の油分・水分を除去する（カラーリング方法に応じた製品を使用する）。
2. ベースコート（またはベースジェル）を、爪表面およびエッジ（先端）に塗布する。
3. カラーを 1 度目塗布する。
4. カラーを 2 度目塗布する。
5. トップコート（またはトップジェル）を、爪表面およびエッジに塗布する。
6. ジェルネイルは未硬化ジェルのベタつきがない状態に仕上げる。

注意事項

- ジェルネイル施術において、カラーリング終了後にファイル類を使用することは禁止する。（ネイルファイルを使用した場合は減点対象とする。）
- 仕上げ後、キューティクルオイルの塗布は行わないこと。
- 未硬化ジェルが出ないタイプのジェル製品を使用する場合は、ふき取り作業を省略してもよい。ただし、表面にベタつきが残らない状態に仕上げる。

●チェックポイント

- ・衛生的に施術を行っていること。
- ・エッジの塗り残しがないこと。
- ・ネイルポリッシュおよびジェルカラーは、各 5 本の爪において厚みやフォルムが均一である。
- ・爪裏に製品が流れていないこと。
- ・キューティクルラインが空き過ぎず、滑らかであること。
- ・キューティクルライン際、爪先端、爪のサイドに製品の溜まりがないこと。
- ・サイドの塗り残しがないこと。
- ・表面やサイドに色むらや刷毛あと、ダスト、凹凸、液だまりなどがいないこと。
- ・ダストやバブルなどがなく、素材に合った均一なツヤがある。
- ・皮膚にカラーやジェル製品がついていないこと。
- ・時間内にトップコート・トップジェルまで塗布できている。
- ・ジェルカラーリングは未硬化ジェルがない状態で終了する。
- ・ジェルはトップジェル塗布後、ネイルファイルを使用しないこと。
- ・左右で使用する素材に違いはあるが、10本の仕上がりがほぼ同じような仕上がりになっていること。

●注意事項

- ① 競技開始時にモデルの事前審査を行う為、事前審査中にモデルの手や爪に触らないこと。
- ② モデルに出血が生じた場合は放置せず、近くにいる競技委員の指示に従うこと。
手指を消毒してから施術を再開すること。出血の状況によっては、競技を継続出来ない可能性もある。

りますので道具の取り扱いに注意してください。

- ③ 器具、材料を落とした場合は放置せず、拾い、破棄する。破棄できないものは器具用の消毒液で消毒してからセッティング、使用すること。
- ④ 時間内にすべての作業が終了されていない場合は減点となる。
- ⑤ 審査中、モデルの爪や手に触れないこと。
- ⑥ ジェルネイルはカラーリング（トップジェル硬化後）終了後、はみ出したジェル等をネイルファイルで削らないこと。（ネイルファイルで削り整えた場合には、減点となります。）

課題 2（ネイルアート）

ネイルアートの基本的なテクニックを用いて、テーマにあった作品をネイルチップに施す。

テーマ： 「ブライダル（Bridal）ネイル」 ネイルチップ：5本

●競技時間 80 分

●競技内容

ネイルチップ（5本）にアートを施す。

【競技手順】

- ① デザインチップをチップスタンドに装着し準備する
- ② チップに好みのカラー等を塗布し、テーマに合ったデザインを施す
- ③ トップコート及トップジェルを塗布して終了とする（ジェルは、未硬化がない状態で終了とする）

*アートに使用する材料は、特にメーカーは問わないが、4つ以上の異なる材料や素材を使用すること。

・ネイルチップの長さや形は、時間内であれば変更可能です。

・ネイルアートで使用するチップは、前日のオリエンテーションでお渡しします。

ネイルチップはクリアタイプ。

・ネイルチップに付けられる範囲の大きさであれば、立体的なデザインも時間内に作成したものであれば装飾しても良いです。

・4つ以上の異なる材料や素材について、光重合で硬化する材料（3Dジェル・マグネット・ラメ入りジェル・カラージェル等）は、タイプの違うジェルをいくつ使用しても、1つの素材（ジェル）としてカウントします。

【ネイルアートで使用する材料や素材の例】

- ・ジェルネイル製品・ネイルポリッシュ製品・アクリル絵の具・ストーン類・ラメ類・ホロ・フレーク・ラインテープ・ホイル類・パウダー類、立体的なデザインができるジェル製品・シェル類など
- ・その他ネイルアート製品として市販されている製品であれば使用可能

※アクリルのスカルプチュア製品については使用できません。

※見本（メモ、デッサン画、事前に作成したチップ等）を見ながらの作業はカンニング行為とみなします。

※大会当日に使用するチップは、競技前日（オリエンテーション）の際にお渡しします。

※作品の提出方法などは、競技前日（オリエンテーション）の時に伝え致します。

●注意事項

- ① 衛生的に作業を行うこと。
- ② 使用するチップの加工（長さ形を整えるなど）は、競技時間内に行う。
- ③ チップのファイリングスタイルは自由。
- ④ ネイルアートは、ポリッシュ、ジェル、アクリル絵の具などを使用する。形状や使用するメーカーは問わない。
- ⑤ 課題のテーマに沿ってアートを施す。
- ⑥ ネイルアートの装飾品は効果的に使用することは可（ラメ・ラインストーン・スタッズ・ミラーパウダー・ホイルなどのネイルアート用の素材）。
- ⑦ 市販されているネイルシールや既にデザインされた装飾パーツ類の使用は不可。
- ⑧ 著作権など他者の権利を侵害していない作品とする。（オリジナル作品とする）
- ⑨ 5本全体でテーマを表現するものとする。

●チェックポイント

- ・テーマに合ったデザインである
- ・時間内に終了している
- ・異なる4種類以上の材料や素材を使用している
- ・独創的なオリジナル作品か
- ・全体のアートのバランスは適切であるか
- ・デザインテクニックに優れているか（色彩バランスとペイントやグラデーションなどのテクニック）
- ・効果的にアート製品を使用できているか
- ・繊細な仕上がりか
- ・爪につけられるアート作品
- ・立体的なパーツをその場で作成し爪に装着する事は可
- ・効果的にストーン、ホログラム、ラメ、ミラー、パウダーなどのネイルアート用品が使われている
- ※但し、デザインが出来上がったパーツ及びネイルシールなどの既成の製品の使用は不可
- ・トップコートやトップジェルなどのコーティングで仕上げる（ツヤあり・ツヤなしいずれも可）
- ・ネイルアートに必要な材料や道具の管理と使用方法を理解し衛生的に作業がされているか

※どのようなウエディングをイメージして作品を作ったのかを、前日のオリエンテーション時にシートに記入していただきます。

- ○○ウエディング/ ○○○なウエディング など
- 作品へ込めた思いなどを50文字程度

※前日のオリエンテーション時に、競技内容やルールの一部が変更になることがあります。